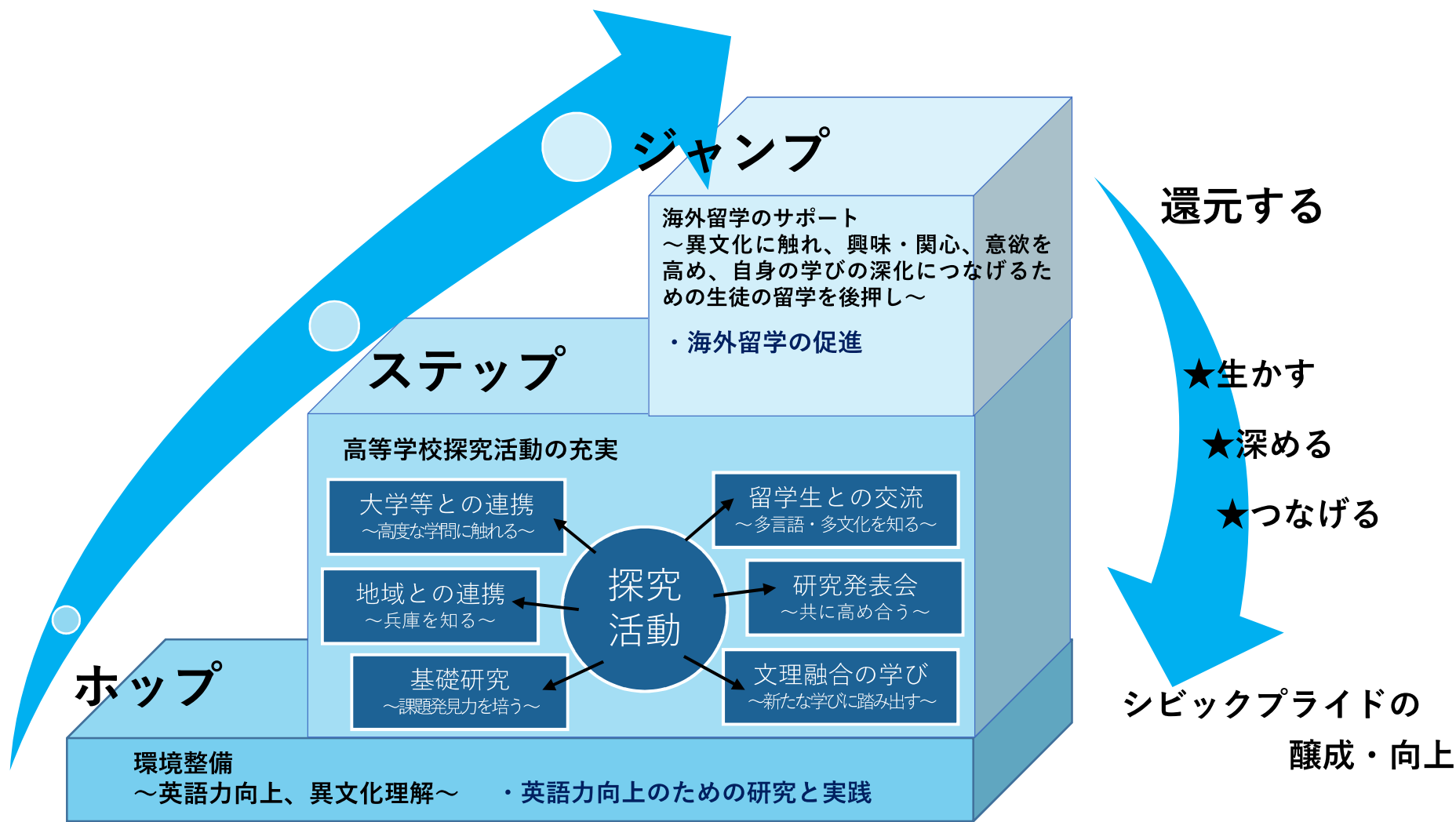


# HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト（案）

～兵庫への誇りを礎に、探究心とチャレンジ精神をもって  
日本の未来を切り拓くグローバルリーダーとして活躍する人材を育成する～



# (1) **ホップ** 英語力向上のための環境整備

～英語力を向上するとともに、多文化に触れ、異文化を理解する～

## 課題

◇英語力の向上

教育振興基本計画で以下のとおり設定

- ①CEFR A2レベル（英検準2級相当）以上を達成した割合の目標値が5年後に60%以上と引き上げ（現在は目標値50%）
- ②CEFR B1レベル（英検2級相当）以上を達成した割合の目標値が5年後に30%以上と設定（現在の兵庫県の値は25.3%）

| CEFR       |    | 英検       |
|------------|----|----------|
| 熟達した言語使用者  | C2 | —        |
| 自立した言語使用者  | B2 | 準1級      |
| 基礎段階の言語使用者 | B1 | 2級       |
|            | A2 | 準2級      |
|            | A1 | 3級・4級・5級 |

※CEFR(Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠)は、外国語によるコミュニケーション能力の評価等に用いられる国際基準の指標である。

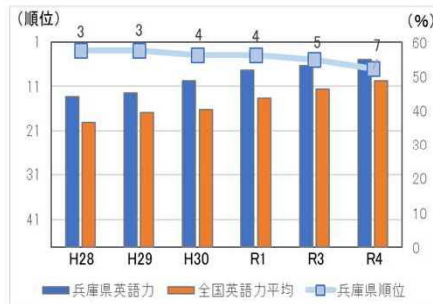
### 【現状】

※文部科学省「英語教育実施状況調査」  
CEFR A2（英検準2級）相当

|     |       |    |
|-----|-------|----|
| 兵庫県 | 54.0% | 7位 |
| 全国  | 48.7% | —  |

※文部科学省「英語教育実施状況調査」  
CEFR A2（英検準2級）相当の全国順位

| H28 | H29 | H30 | R1 | R3 | R4 |
|-----|-----|-----|----|----|----|
| 3位  | 3位  | 4位  | 4位 | 5位 | 7位 |



## 令和6年度実施事業

### アプリを活用した授業実践研究

#### ◆英語教育重点指定校(仮)による英語力向上のための研究と実践

BYODの端末とアプリ（目標スコア別トレーニングアプリ、スタディアプリ等）を有効に活用する授業の研究を行い、英語の4技能の向上とCEFR A2の目標値達成を目指す。

#### ○内容

アプリ等を活用した授業研究の実施  
効果的な指導方法の研究協議会の実施



## (2) **ステップ** 高等学校探究活動の充実

～大学等との連携を進め、課題発見力を高めて新たな学びに踏み出すなど、探究活動の充実を図り、自身の学びを深める～

### 現状 ◇国指定事業の指定状況

#### ①SSH

R5 県立12校を含む県内16校指定  
(国内最多指定校数)



#### ②新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）

新学科設置予定校に必要な関係機関等との連携体制構築等を支援

R4～R6年度 御影、柏原  
R5～R7年度 篠山鳳鳴、姫路飾西

### ◇県指定事業の指定状況

#### ①高大接続改革推進事業

高校と大学が連携して実施する教育プログラム等の開発を支援

#### ○学力向上モデル校事業

R1～R5年度  
篠山鳳鳴、八鹿、洲本  
※近隣に大学がない地区

#### ○国際力強化モデル校事業

R1～R5年度 県立国際

### 課題

◇SSH指定校のない南但馬、丹波、淡路地区等における教育活動の充実

◇指定校以外の学校への成果の普及

◇指定を目指す学校の育成（組織体制やカリキュラム、連携先の決定、研究基礎の仕上げ等）

## 令和6年度実施事業 SSH並みの県指定研究事業の推進

【51,000千円】

### ◆ひょうごリーダーハイスクール(仮)を目指す学校の育成

各校の教育目標に基づく特色ある取組を支援する「県立高校魅力アップ推進事業※」等を活用して、ひょうごリーダーハイスクール(仮)の指定を目指す

※取組例

大学教授等による特別講座、  
企業訪問、地域住民との交流 等

### ◆◆ひょうごリーダーハイスクール(仮)による実践研究の実施

国内トップクラスの研究を大学や研究機関等と連携して実施

#### ①国指定事業による研究

(SSH、普通科改革における新学科設置事業等)

#### ②本県独自指定による研究

#### ○内容

文理融合型や国際系等の探究の研究、  
県立大学・神戸大学等と連携した研究、  
留学生等ネイティブスピーカーとの文化交流、  
地域課題発掘・解決方策の提案 等

### ◆◆◆研究成果の普及

SSH等の国指定事業及びひょうごリーダーハイスクール(仮)指定校による全県的な発表会を実施し、研究成果を全県へ普及

#### ○内容

研究発表会、普及イベント（指定校以外も参加できる）等の開催、ひょうご咲いテク事業の継続

### (3) ジャンプ 海外留学のサポート

～異文化に触れ、興味・関心、意欲を高め、自身の学びの深化につながるための生徒の留学を後押しする～

#### ◆海外留学サポート

##### ◇留学コース

| コース |                     | 日数          | 所得制限                            | 補助金額(上限)      | 1校申請<br>上限人数 | その他                              |
|-----|---------------------|-------------|---------------------------------|---------------|--------------|----------------------------------|
| 短期  | I 短期留学<br>(国費対象)    | 10日～<br>1ヶ月 | なし                              | 6万円<br>(全額国庫) | 20名<br>以下    | 国費事業に採択されたプログラム<br>を対象           |
|     | 県費<br>II はじめて<br>留学 | 7日～<br>1ヶ月  | 奨学資金貸与<br>基準以下<br>※4人家族<br>680万 | 20万円          | 2名<br>以下     | 以前に留学経験が無い生徒が対象<br>国費事業に準じた留学    |
| 長期  | III 長期留学            | 1年          | なし                              | 40万円          | なし           | 個人で民間団体等が主催するプ<br>ログラムに参加する生徒が対象 |

##### ◇拡充の必要性

これまでの留学補助に加えて、新たに、留学先で個々の学びを深めるためにチャレンジする高校生を、県が官民協働で支援することで、より一層高校生の留学を促進し、グローバルな視点・能力を育成するとともに、兵庫県のアンバサダーとして、兵庫で学び、国際的に活躍する若者の育成につなげる。

##### ◇留学フェア

県内の高校生やその保護者、学校関係者を対象に、留学体験者による発表、各国大使館や留学交流団体等による情報提供を行い、留学の促進につなげる。

# 高校生チャレンジ留学（案）

05



## ～HYOGO高校生海外武者修行応援プロジェクト～

|                |                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 趣 旨            | 人口減少・少子化が進む中、“ <b>個の力</b> ”がますます重要となっている。そこで、留学先で個々の学びを深めるためにチャレンジする高校生を、県が官民協働で支援することで、高校生の留学をより一層促進し、グローバルな視点・能力を育成するとともに、兵庫県のアンバサダーとして、兵庫で学び、国際的に活躍する若者の育成につなげる。                                                                                                         |
| 概 要            | <期間> 約1ヶ月    <補助人数> 10人    <補助金額> 50万円/人：基金を活用                                                                                                                                                                                                                              |
| 留学先での活動<br>(例) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ系（スポーツクラブチームに参加）</li> <li>・芸術系（ダンススクール、音楽学校、美術学校、ファッションに関する専門学校に通う）</li> <li>・社会貢献（ボランティア活動やNGO団体の活動に参加）</li> <li>・地域産業（農場での実地研修に参加）</li> <li>・ビジネス（スタートアップ企業等への訪問）</li> </ul> <p>★上記に加えて、兵庫県のアンバサダーとして、兵庫県の魅力を発信する活動を必ず行う。</p> |
| 選 考 方 法        | ①書類選考 及び ②面接 を実施し、英語力のほか、留学の目的・意欲を確認                                                                                                                                                                                                                                        |
| 対 象            | 兵庫県内に所在地を有する国公私立の高等学校等に在籍している高校生                                                                                                                                                                                                                                            |

|               | 2月    | 3月   | 4月                  | 5月             | 6月                   | 7月 | 8月 | 9月                     | 10月 | 翌年7月 |
|---------------|-------|------|---------------------|----------------|----------------------|----|----|------------------------|-----|------|
| スケジュール<br>(案) | 検討委員会 | 募集開始 | 応募<br>〆切<br>・<br>選考 | 選考<br>結果<br>通知 | 補助金<br>申請<br>・<br>決定 | 留学 |    | 補助金<br>実績報告<br>・<br>支払 |     | 報告会  |



## 「国際人材育成基金」を新たに設置

|     |                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 趣 旨 | 高校生をはじめとする若者に対する海外への留学の支援その他の支援を行うことにより国際社会で活躍することができる人材を育成する事業の資金に充てるため、基金を設置する。                  |
| 内 容 | 個々の学びを深めるため、留学する高校生を官民連携で支援する。令和6年度は10名を支援し、今後は、100名を目標に取り組む。また、高校現場における国際交流、国際理解を通じた国際人材の育成も支援する。 |

